

コール・トレンド

—統計が語る石炭需給・価格の動向—
 ～シェールガス革命の行方を遮るニューイングランドの寒い冬～

電力・石炭ユニット 担任・理事 森田 浩仁

今月号では、豪州、南アフリカの市況、我が国における入着価格の傾向に加え、石炭が電力用燃料としてのシェアを急回復しつつある米国の状況を整理する。

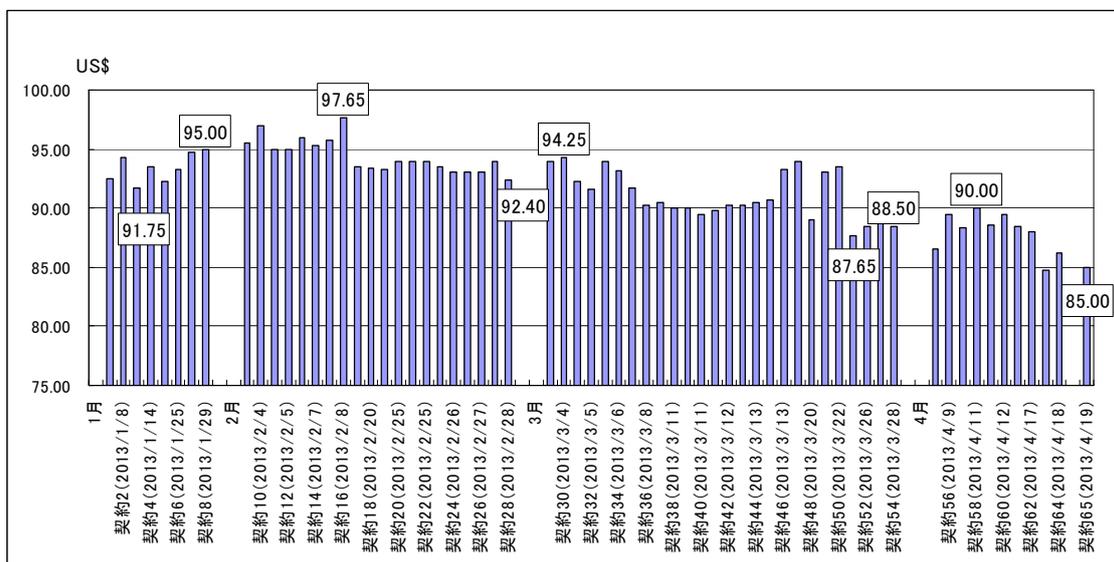
1. 豪州、南アのスポット価格と我が国着価格

(1) 豪州、南アの一般炭実物取引価格の動向 (2013年1-2月)

—下げ止まらぬスポット価格—

図1. は豪州ニューカッスルの1-4月におけるスポット実物取引の成約価格を時系列的に示したものである。

図1. 豪州ニューカッスル (NC) 港積み成約取引価格 (2013年1-4月、実物)



出所) globalCOAL 資料より作成

ニューカッスルにおいては、2013年1月から3月の3ヶ月間において54件、4月には本稿作成中の4月25日時点で10件の実物スポット取引が報告されている。

価格レベルは継続的に低下を続けている。3月は2月より低く、そして4月は3月よりも

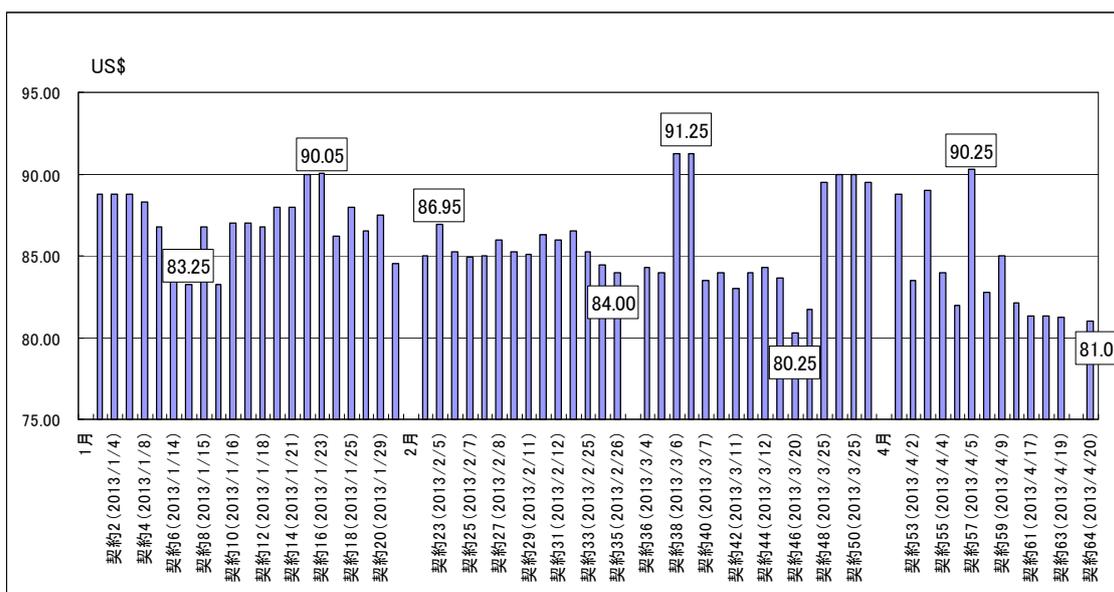
まだ低い。4月に成約した取引で90 US\$/トンに届いた案件は1件のみで、10件目に当たる4月19日の取引などは85 US\$/トンであった。

豪州産一般炭価格がこれほどまでに低下したのは、2009年10月から2010年4月の間、NSW州産・我が国向け価格が83-9A\$/トン（76-82 US\$/トン程度）で推移して以来、3年ぶりとなる。

一方、南アフリカリチャーズベイ（RB）積み取引は、2013年1-3月においては51件、4月は13件の取引が報告されている（4月25日時点）。90 US\$/トンを超えた（90 US\$/トンに届いた）取引は1月2件、3月4件、そして4月には1件のみであった。4月成約13件のうち85 US\$/トンを上回った（85 US\$/トンに届いた）案件は4件のみで、最新の4月20日成約の取引は81 US\$/トンにまで値を下げている。

価格レベルの下げ傾向は、ニューカッスル積みと同様、図2.より読み取ることができる。

図2. 南アフリカリチャーズベイ（RB）港積み成約取引価格（2013年1-4月、実物）

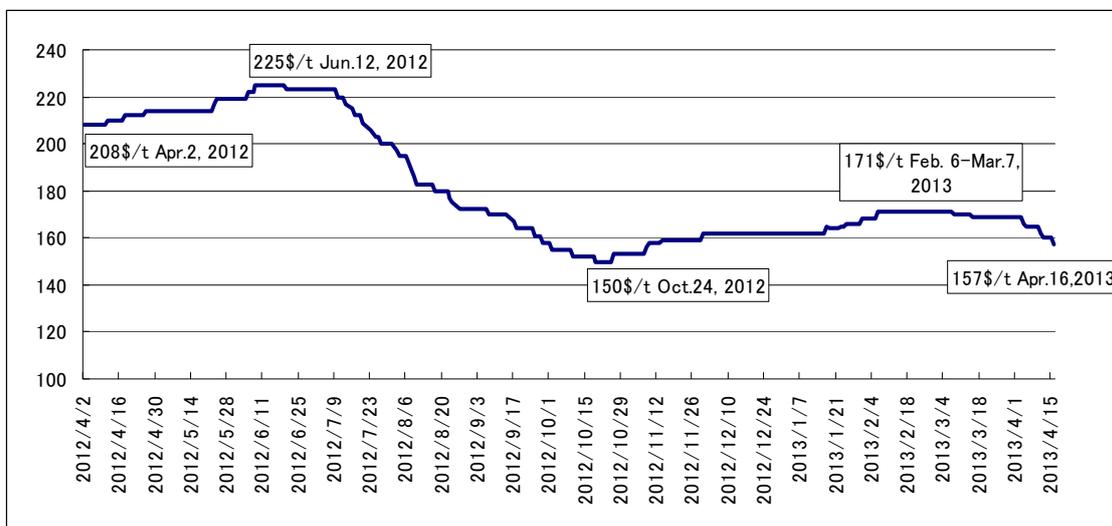


出所) global COAL 資料より作成

(2) 原料炭スポット指標 (Index) 価格の動向

図3. はCCQ (Coking Coal Queensland) Indexの推移、つまり豪州東海岸（クィーンズランド州）出しの強粘結原料炭 Index 価格の日ごとの推移を示したものである。

図3. Energy Publishing の CCQ (Coking Coal Queensland) Index の推移



出所) Energy Publishing

強粘結原料炭価格は、2012年10月19～25日の150US\$/トンを中心に上昇に転じ、緩やかにではあるが回復を続け、2月6日には171US\$/トンにまで回復を遂げた。しかし、以降は3月7日まで同じレベルに留まった後、再び緩やかなペースで下降を始め、4月16日には157US\$/トンにまで低下している。(Energy Publishing ホームページ)。

ちなみに3月20日を少し過ぎた頃であったろうか、我が国高炉向け強粘結炭の2013年4-6月価格は前期比(2013年1-3月)で17US\$/トンプラスの172US\$/トンFOBTで決着したことが報道されている。決着後にマーケットは再軟化を始めたということか。

(3) 我が国着の輸入価格

— 落ち着きを取り戻したかに見える入着価格、ただし円ベースでは大幅上昇—

表1. は2012年10月、そして2013年1、2、3月の我が国着の輸入価格を示している。

まず、3月の輸入価格を\$ベースでみると、対前月(2月)比で、全輸入量では4.14US\$/トンの値上がりを記録した。全輸入量での値上がりは今年1月に対前月比1.77US\$/トン上げて以来、今年2度目となる。

炭種別にみても、原料炭+6.14US\$/トン、一般炭▲0.69、無煙炭+2.03と、昨年来継続してきた急下降はひとまず収束したように見える。

4月以降の入着価格を考察してみると、原料炭については、前述のとおり、我が国高炉向け強粘結炭の2013年4-6月価格が前期比で17US\$/トンプラスの172US\$/トンFOBTで決着したことから、4月以降に再び大きく下降を始めるといった事態は考えにくい。

ただし、一般炭については、電力会社向けの2013年4月スタートの豪州一般炭契約が前年度比▲20 US\$/トンの95 US\$/トン FOBTで妥結したため、今一度下方への押しがあることも予測される。

表1. 我が国着の輸入炭価格（2012年10月～2013年2月）

	2012年10月価格		2013年1月価格		2013年2月価格		2013年3月価格	
	¥/トン	\$/トン	¥/トン	\$/トン	¥/トン	\$/トン	¥/トン	\$/トン
全輸入量	11,543	147.41	11,819	134.93	11,811	127.56	12,391	131.70
炭種別								
原料炭	14,084	179.86	13,589	155.14	12,936	140.98	13,841	147.12
一般炭	9,862	125.94	10,477	119.61	10,912	118.92	11,124	118.23
無煙炭	13,529	172.76	13,699	156.39	14,228	155.06	14,780	157.09
ソース別								
豪州	11,757	150.13	11,904	135.89	12,170	132.63	12,462	132.45
インドネシア	8,980	114.67	9,841	112.34	10,190	111.05	10,712	113.85
カナダ	14,981	191.30	15,317	174.86	14,595	159.06	17,296	183.83
中国	11,760	150.17	16,861	192.48	15,352	167.31	17,627	187.35
米国	15,197	194.06	16,595	189.45	13,710	149.41	14,793	157.23
ロシア	10,308	131.63	10,776	123.04	11,683	127.32	11,626	123.57
南アフリカ	-	-	10,567	120.63	9,834	107.17	-	-
ニュージーランド	16,977	216.79	-	-	-	-	17,741	188.56
ベトナム	16,119	205.62	12,401	141.57	13,656	148.82	13,856	147.27
モンゴル	-	-	-	-	20,995	228.80	-	-
モザンビーク	17,114	218.54	-	-	15,358	167.37	15,053	159.99
コロンビア	10,616	135.56	9,890	112.90	-	-	-	-
原料炭ソース別								
豪州	14,834	189.43	14,454	165.16	14,406	157.00	14,501	154.13
インドネシア	9,508	121.42	10,133	115.68	10,404	113.39	11,071	117.67
カナダ	17,450	222.84	17,210	196.47	16,999	185.27	18,989	201.84
中国	10,823	138.21	-	-	15,611	170.14	17,599	186.63
米国	16,668	212.85	18,033	205.87	15,969	174.03	16,200	172.19
ロシア	13,938	177.99	12,113	138.29	13,143	143.23	13,214	140.45
ニュージーランド	16,978	216.81	-	-	-	-	17,741	188.57
モンゴル	-	-	-	-	20,995	228.81	-	-
モザンビーク	17,115	218.56	-	-	15,358	167.38	15,054	160.00
一般炭ソース別								
豪州	10,186	130.08	10,650	121.58	11,227	122.36	11,430	121.49
インドネシア	8,434	107.70	9,314	106.33	9,956	108.51	10,169	108.09
カナダ	9,141	116.73	10,759	122.82	11,248	122.58	9,252	98.34
中国	11,111	141.89	13,696	156.36	13,019	141.89	11,649	123.82
米国	8,187	104.54	10,808	123.38	10,185	110.00	10,438	110.95
ロシア	9,033	115.33	10,089	115.18	10,558	115.06	10,540	112.03
南アフリカ	-	-	10,568	120.64	9,834	107.18	-	-
コロンビア	10,616	135.57	9,891	112.91	-	-	-	-

US1\$=¥78.31

US1\$=¥87.60

US1\$=¥91.76

US1\$=¥94.08

出所) 日本貿易統計月報より作成

ただし、入着価格を円ベースでみてみると、異なる風景がみえてくる。すなわち円ベースでの入着価格は上昇のスピードを増している。

2013年3月の入着価格は全輸入量では対前月比で580円/トン上昇している。昨年10月との比較では、\$ベースで15.71US\$/トン下げたにもかかわらず、円ベースでは848円/トンの値上がりとなっている。

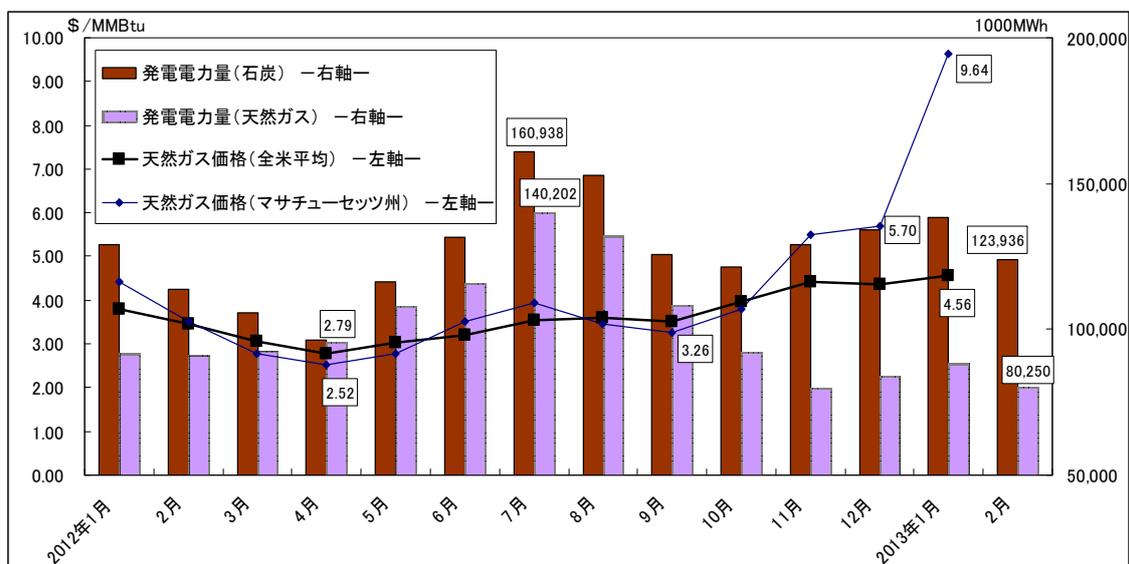
一般炭の価格上昇はさらに大幅で、昨年10月比で1,262円/トンも上げている。

2. シェールガス革命の行方を遮るニューイングランドの寒い冬

下図は米国における2012年以降の電力向け小売天然ガス価格とソース別発電電力量の推移を示したものである。

ここ数年、シェールガス増産の影響で天然ガス需給は緩み、価格は低レベルで推移してきた。特に2012年当初においては価格の低下は著しく、4月には電力向け小売価格全米平均で2.79\$/MMBtuにまで低下した。しかし、その後価格は上昇傾向に転じ、秋から冬の需要期を迎え、電力向け小売天然ガス価格は上昇速度を速め、2013年1月には4.56\$/MMBtuにまで上昇を遂げている。

図4. 米国の電力向け小売天然ガス価格とソース別発電電力量の推移



出所) 米国エネルギー省エネルギー情報局

特に、寒さが厳しく、パイプライン容量に限りがある米国北東部に位置するニューイングランド地方においては、電力向け小売天然ガス価格の上昇は著しく、マサチューセツ

州では今年1月、天然ガス価格は一気に9.64\$/MMBtuにまで跳ね上がった。ニューイングランド地方の価格上昇が全米の価格レベルの底上げに繋がっている。

一方、図4.の棒グラフはソース別の発電電力量を示している。左の棒が石炭火力発電、右が天然ガスを燃料とする発電電力量を示している。

米国ではシェールガス革命、そして天然ガス価格の低下に伴い、発電用燃料として天然ガスがシェアを拡大し、一方で石炭がシェアを失っていることを、本稿のNo. 5 (2012年12月)号にて紹介済みである。2011年には42%であった石炭のシェアは、2012年には37%に低下し、天然ガスは25%から30%にシェアを上げている。

天然ガス価格が全米平均で2.79\$/MMBtuと最低を記録した2012年4月には石炭33%、天然ガス32%とほぼイーブンであった。ところが2013年の1-2月をみるとそれぞれ40%、26%と2011年のレベルに戻っている。マサチューセッツ州など2012年1-2月比で石炭火力は110%の増加、天然ガス火力マイナス30%を記録している。

どれほどすばらしい燃料であっても、それが革命といわれるほどのものであっても、経済的に優れていなければ手放しで受け入れられることなどないという厳しい現実を、ニューイングランドの寒い冬が思い出させてくれた。

(以下次号に続く)

お問い合わせ:report@tky.ieej.or.jp